

～下記の研究を行います～

『 Real-time Virtual Sonography を用いた画像同期組織内照射についての検討』

【研究責任者】放射線治療科 田中英一

【研究の目的】 Real-time Virtual Sonography(RVS)は、超音波エコー装置に接続されたセンサーとエコープローブに装着したセンサーにより、プローブの位置情報を取得し、あらかじめ撮影された CT や MRI などの画像と超音波像と同期表示させる技術です。

この技術の使用により超音波ガイド下におこなっている組織内照射アプリケーションの導入についてより正確かつ安全性の高い刺入が施行できる可能性を提示できます。

【研究の期間】研究許可日～2029年12月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2023年12月1日～2028年12月31日の期間に当院で組織内照射を受けた子宮頸癌もしくは体癌の患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録等から以下の情報を収集します。

- ・超音波画像診断装置にて取得された画像および動画データ
- ・撮影された放射線画像および放射線治療のデータ
- ・電子カルテに入力された診療記録 等

【情報等収集開始予定日】2024年4月22日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シオアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。が、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 放射線治療科 科長 田中英一